

# 子供をオンラインから守るために 親のオンラインが必要

By Webroot® Software



The Best Security in an Unsecured World.™

## ブロードバンドの成長

### ● 日本とインターネット

- 日本のネット接続の67%がブロードバンド
- 2000年からの成長率が83%
- アジア全体のブロードバンドの22% (中国 = 34%, インド = 10%)\*

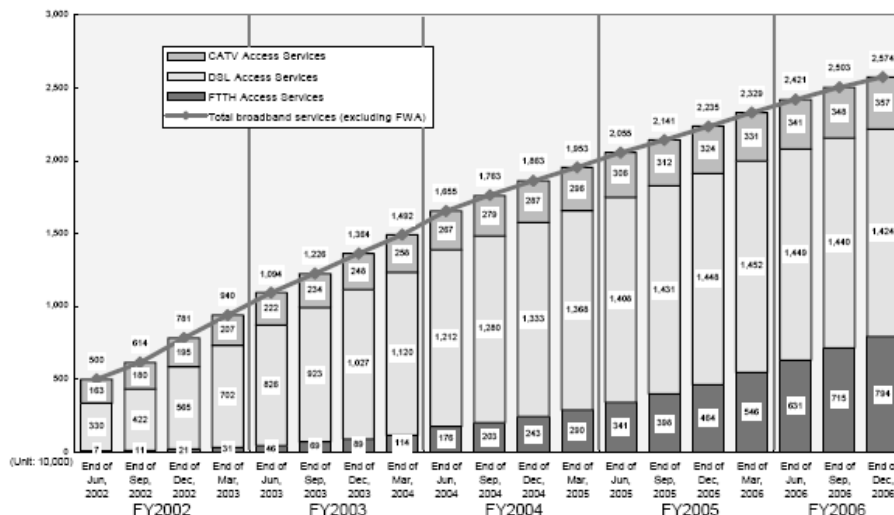


Chart: The Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC), Japan, Dec. 06

## 何故、子供のインターネットの安全が必要なのか？

### • 日本での子供のオンラインの状況 –

- 5から17歳の子供の93%がインターネットを利用 *(Webroot Research, October 2007)*
- 十代の79%が電子メールを使用し、チャットやブログも上位ランク。学生はメル友(メールの交換するだけの友達)を見つけたり、ゲームなどの情報を交換するためにサイトにアクセスする。
- 72%の子供が個人情報やクレジットカード情報を必要とするオンラインゲームで遊んでいる
- 50%以上の十代の子供が製品やサービスをオンラインで購入している

## 日本の親がもっとも心配していること

### • 日本と米国の親の心配要素

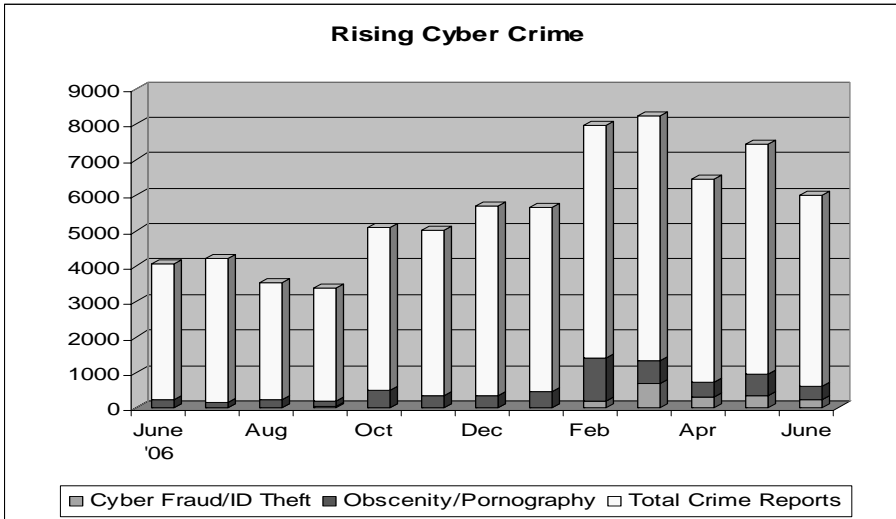
- 日米共に親は子供のインターネットの利用について心配している
- 心配は似かよってはいるが、若干順番が異なっている。

ランク	日本	米国
見知らぬ人からの誘い	4	1
わいせつ画像の表示	1	2
個人情報の流出	2	3
不適切なチャットやインスタントメッセージの利用	5	4
有害ファイルのダウンロード	3	5
暴力サイトへのアクセス	8	6
不法な音楽・動画のダウンロード	9	7
ネットのいじめ	6	8
無許可での購入	7	9
P2P ゲーム	11	10
オンラインギャンブリング	10	11



# サイバー犯罪の増加。心配が現実

- インターネットホットラインセンターの統計 (対前年比)
  - 全体のサイバー犯罪のレポート = 71%増
  - 猥褻物/ポルノ画像 = 63%増
  - サイバー詐欺/個人情報の盗用 = 550%増



Webroot Software, Inc.

2007年12月4日(火)



# 親の意識: 米国と日本

- 子供のインターネットでの体験をいかに管理するかは世界の親の共通の課題

電子メールやチャット、インスタントメッセージでのいじめを受けた事がある。	はい 親/子供	いいえ 親/子供	わからない 親/子供
米国	6.7% / 17.4%	84.4% / 82.6%	8.9%
日本	1.6% / 3.3%	84.2% / 96.7%	14.2%
性的な内容を含んだ電子メールやポップアップ広告を見た事がある。			
米国	27.9% / 37.2%	57.0% / 62.8%	15.1%
日本	10.4% / 33.8%	67.5% / 66.2%	22.1%
知らない人からの誘いのメールを受けた事がある。			
米国	6.1% / 18.2%	81.3% / 81.8%	12.6%
日本	4.6% / 22.3%	73.2% / 77.7%	22.2%

Webroot Software, Inc.

2007年12月4日(火)

## なぜ子供のインターネットの安全が必要なのか？

- **ネットの社会活動への参加やチャットは有益であるが、子供にとっては脅威にもなる**

(Webroot Research, October, 2007)

- 22%の子供が見知らぬ人からの誘いを受けている。 (Webroot Research, 2007)
- オンライン上でのおとり捜査によれば、誘われる子供の90%は事件に巻き込まれる (Wolak, 2004)
- メル友と連絡を取る学生の3分の1がオンラインで出会った人に、実際にあったことがあると答えている\*
- 中学生のメル友の40%が高校生だと答えている\*
- 11歳から17歳の子供の34%が性的な内容を含んだ電子メールやポップアップ広告を見たことがある。 (Webroot Research, 2007)

## なぜ子供のインターネットの安全が必要なのか？

- **ネットでの社会活動やショッピングは新しいレベルの脅威を生み出す**

- 2007年の上半期に708人の人がインターネットの出会い系サイトで被害にあった。そのうち85%(604人)が18歳未満の児童で売春や誘いを受けた。 (Source: The National Police Agency (NPA), Japan)
- 犠牲者の内の96%は小学生、中学生、高校生を含む473名の学生で、そのようなサイトに携帯電話やコンピュータでアクセスした (Source: NPA)
- 年少者がインターネットを通じて購入できる成人漫画の30%が子供を巻き込んだ性交の描写を含んでいる。 (Source: The Child Protection Society)

## 意識の改革：安全と安心

- セキュリティ会社やNTT DoCoMo, KDDI, ソフトバンクのような携帯各社は安全機能を開発
  - GPSデバイス, 警報機能と子供電話に対する各種サービス
  - 市場は2006年に2億1千2百万ドルに達した (Source:Yano Research Institute, Tokyo)
- ランドセルメーカーの共和は一万のGPS付きのランドセルをこの2年間に販売した
  - 年間の総販売量の5%に相当する。
- 主要な携帯電話会社は親のインターネットフィルタリングに関する同意と共に未成年者へ携帯電話を販売している
- 自宅のコンピュータではまだ15%しかウェブフィルタリングが導入されていない (Webroot Research, 2007)

## 親は子供のオンライン活動をチェックしましょう

### 日本では親と子供の意識 – 非常に近い

監視技術	親 (あなたがしている事)	子供 (親がしている事)
オンラインでの活動について聞く	31.4%	49.2%
オンラインの活動を見ている	48.7%	42.3%
履歴をチェックする	15.1%	12.2%
クッキーをチェックする	1.8%	2.6%
アカウントのログを取る	1.3%	2.4%
何も監視しない	27%	24.7%

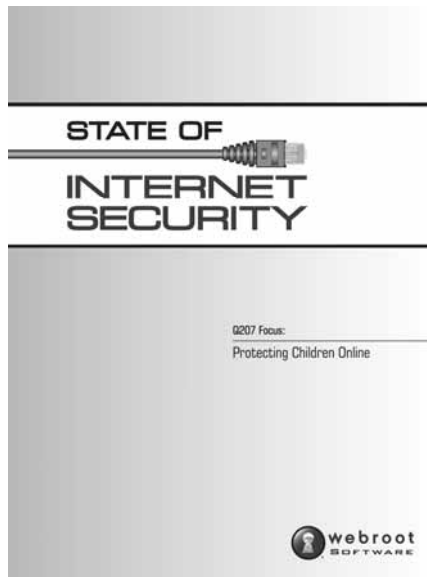
## あなたの子供を守るために：会話をしましょう

- **技術の問題には技術で解決するのがベスト。**
  - モバイル社会研究所(日本); Childnet; 失踪・虐待児童の全米ネットワーク (the National Center for Missing and Exploited Children); と米国最高裁判所を含む子供を擁護するグループをリードする組織の一致した意見 – ペアレンタルコントロールソフトウェアや教育、会話が子供をオンラインの問題から守る親の一番のツールです。
- **あなたの子供に教えるべきガイドライン**
  - ルール1 – 時間制限 – コンピュータの利用時間について会話する
  - ルール2 – 許可サイト – 子供に適切なサイトについて議論し、指導する
  - ルール3 – 接触の許可 – 子供がオンライン上で他人と接触する場合はあらかじめ許可を得る
  - ルール4 – プライベート情報 – 個人情報にはオンライン上では公開しない
  - ルール5 – コンピュータ所有権 – 家族の中の大人によってコンピュータは所有され、あらかじめ設定される

## 子供のオンラインには親のオンラインが必要

- **可能な限り常に子供一緒に参加する**
  - 子供にプログラムをどのように使っているか、お気に入りのサイトについて見せてくれるように尋ねましょう。
  - 友達や週末の計画、宿題の割り当て、学校の日々の出来事についてあなたの子供に電子メールを出したり、インスタントメッセージを出してみましょう。
  - 関連のある記事を入手するため、さまざまなオンラインサービスにサインアップして、インターネットについて子ども自身にそれらの記事を読ませるためにメールしましょう。
  - 新たに出てきた心配についても子供を励まし続けましょう。
  - 弟や妹にどのようにインターネットの安全を指導するべきかについて年長者の役割としての責任を尋ねましょう
  - 本やウェブサイト、親のグループ、学校プログラムやコンピュータ教育クラスを通じて、子供のコンピュータの知識と歩調を合わせ、あなた自身の勉強を続けてください。

## さらに学ぶために



- もっとこのことについて知るために下記のWebrootのサイトに訪問し:

<http://www.webroot.com/land/sois-home>

“State of Internet Security: Protecting Children Online” のレポートと親のためのガイドブックをダウンロードしてください。

- オンライン犯罪についてのレポートは以下のサイトで入手できます:

<http://www.internethotline.jp>